

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2021 年度第 3 回データベース委員会 議事録

日時: 2021年 6月 8日 (火) 20:00~20:30

場所: オンライン会議 (Zoom)

出席委員 (敬称略) : 筑田 (担当理事)、金村 (委員長)、岩崎、山田、吉井、海渡、大鳥、今釜、細金、伊藤、有馬、波呂 (アドバイザー)、渡辺 (アドバイザー)、松山 (アドバイザー)

欠席委員 (敬称略) : 石井、渡辺、上田

報告事項

1. 理事会報告(筑田担当理事)

システム発注前の最終段階であることを報告。

2. 前回議事録の確認

資料1

資料に沿って確認

3. JSSR 統合型大規模データベース 進捗状況

資料 2

システム要件の詳細な打合せや見積もり・契約書等の作成に予定より時間を要し、レジストリのプロトタイプの作成に遅延が生じている。

8月中旬からパイロット登録開始し

10月の本登録を目指している状況。(当初の計画より1ヶ月程度の遅延)

4. 新技術レジストリ研究計画書改訂版承認

(JSSR-HP 参照)

5. 頸椎人工椎間板登録施設承認

(JSSR-HP 参照)

審議事項

1. JSSR 統合型データベース（レジストリ）

1) 見積もり

資料3

➤ システム・調査票設計	72万（税抜）
➤ 症例データ登録機能開発	144万（税抜）
➤ JSSR 調査票からの JSIS 連携機能開発	48万（税抜）
➤ 手書き用調査票作成	24万（税抜）
➤ クレンジング用データ出力機能開発	48万（税抜）
➤ 各種テスト	48万（税抜）
➤ 合計	384万（税抜）422.4万(税込)

2) 契約書（システム開発、システム保守）

資料4-1、2

上記に関して JSSR 顧問弁護士の大磯先生にリーガルチェックを行っていただき、一部訂正が必要な部分あり。修正を依頼する。

3) JSSR_JSIS-DB 連携

資料5

本年度はJSSR-JSISと調査期間の相違のため、JSSRの2階部分をJSISと連携できないが、JSIS以外の調査票でJSIS連携ボタンを使えるようにするための、JSIS連携対象調査票の拡張処理の開発費用が必要（48万円）。JOANRに実装する。

4) JSSR・OPLL 基本項目共有(見積もり)

資料6-1、2

従来のJOANRの仕組みだと、JSSR調査票とOPLL調査票の基本項目は別々に存在する。しかし、この場合、1F部分の重複が発生して1手術1基本項目という原則が崩れてしまい、これを調整するために開発費用が以下の通り必要。

OPLL研究班と下記の開発費を折半する

➤ 設計（データ構造・ロジック）	48万（税抜）
➤ 設計（画面）	24万（税抜）
➤ 開発（データ構造・ロジック）	96万（税抜）
➤ 開発（画面）	48万（税抜）
➤ 各種テスト	48万（税抜）
➤ 合計	264万（税抜）290.4万(税込)

上記の審議事項を委員会で審議。承認された。

(今後の方針)

- ・ 契約書の訂正が必要な部分の修正を、システム開発会社に依頼する。
- ・ 修正後、契約書・見積りを理事会で諮っていただく。
- ・ 来年4月から新技術委員会等のJSSRレジストリ 3 階部分も稼働する。これらのシステム開発には別途開発費用が必要である。

2. 次回開催日

メールで連絡

文責 有馬